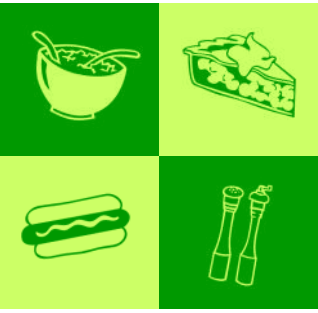


ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

05.29エキ
 ナセア咲く
 お宿の庭で
 キキ太と一
 緒に。



1 庭畑の作業



←05.22購入したトマト苗も育ち、脇芽を採って挿し芽苗を作るカカ。



↑親苗ごとにカップの色分けをして苗作り。

庭畑の絹サヤは終わり、スナップエンドウも種取り用に少し残しているだけ、風通しは良くなりました。いよいよ夏野菜の季節に、ズッキーニとキュウリが少し採れ始めましたが、トマトにピーマンや万願寺唐辛子などが収穫出来るのは?しばらく先に。今年の入梅は台風と重なり、無事に明けるのか?心配



↑05.31トマトに実が成り始めたので、一雨で病気が出たり、実が割れないようシート屋根を張るカカト。



↑トマト親苗5本に水遣りをしてノトマト苗支柱を



↑フレームに固定。



ノ05.31スナップエンドウのツルを片付け、絹サヤのツルも抜くカカ ↓耕運する



←カカが豆ツルを片付けた2畝を耕した ↓折り畳み格納OK



←狭い場所は方向転換に慣れが必要。



目次

1 庭畑の作業	1
2 ナナミちゃんのお宿は	1
3 玉ネギと長ネギの作業	2
4 六月のお味	2

ハイライト

6月11日「日本初の銀行が設立」1873年のこの日、日本初の銀行となる「第一国立銀行」が設立された。蛍ほたる澄んだ川や水田の周りでは、夜空に蛍が舞い飛ぶ時期となりました。七十二候では「腐草為螢くされたるくさ ほたるとなる」とされる頃。蛍の幼虫は土の中で蛹になり、羽化すると草の下から



05.30バルコニーにて朝日を浴びるハナ。

這い出てきます。その様子から、枯れて腐った草が蛍に生まれ変わるのだと、昔は信じられていました。成虫になるとにも食べずに、水だけで生きる蛍。二つの「火」を冠に持つ旧字の「螢」そのものの姿で、二週間ほどの短い命を燃やして舞い飛びます。20年ほど前、明野でホタルブクロが咲く6月下旬ごろに、水田が広がる近くの川へ行き、蛍が飛んでいるのを見ましたが、今も蛍は飛んでいるのかしら? あの川に・・・

2 ナナミちゃんのお宿は



06.11梅雨の雨に濡れるお宿の庭。ノ駐車スペースに広がる岩垂草は花盛り。→虫取り撫子など色々な草花が咲いています。



3 玉ネギと長ネギの作業



←05.26茎の倒れた玉ネギを収穫↑抜いてゆく。



↑来年1月まで保存できる赤玉と甘い玉ネギ、今年はどちらも大きく出来が良い。



↑05.27昨日に続き玉ネギの収穫。



↑今年の玉ネギは、4種どれも出来が良いウレシイ。



↑05.28玉ネギ1畝を収穫し、マルチを剥がし



05.28キレイにして、石灰類をまいて耕した。



05.30収穫をした玉ネギを母屋へ運び外縁側で、切った茎の切り口を乾かす。



↑06.04玉ネギの茎切り口が乾いたモノを、ネットに入れて



↑薪小屋の日陰で風通しの良い所へ吊下げ保存、必要の都度取り出す。

←05.24ネギ坊主の出ない長ネギに、2個のネギ坊主!! 種採りして苗を作ってみたい。



↑05.24ネギ坊主の出ない長ネギを掘り、株分けをし苗に←7畝目の長ネギ更新畝に移植した。今年の更新は、ネギ坊主の出ないネギ3畝、出ないネギ4畝です。



↑ネギ坊主の茎を切って脇芽の成長を促す作業。



↑長ネギ種用のネギ坊主、種がついている。



玉ネギは保存が出来て、色々な料理に使える貴重な野菜。毎年、数種類の種を買い、蒔いて苗を育てますが、今年は発芽不良で苗作りに失敗し、友人知人に苗を譲ってもらいしのぎました。長ネギは通年栽培している野菜、ネギ坊主から種を採り蒔いて苗を作り、移植して大きく育てるネギ。と、ネギ坊主の出ないネギは1~2本を移植し、分結により数本に増やす2種を作っています。

4 六月のお味



←道に出た枝を剪定しながら↑実山椒を収穫する



↑切った枝から実の小房を収穫し、一粒一粒選別



↑山椒の実の小さな枝を取らないと、口触りが悪くなるので丁寧に一粒一粒。



↑柑橘系の香り!! 不用意に唇や目などに触れると痛い



↑選別をした実は茹でてアク抜き、冷凍保存。

今年も山椒の木に実が沢山ついたので、木が伸び過ぎないように剪定を兼ねて実を収穫。一粒一粒根気のいる作業ですが、年に一度の季節の手仕事。口にすれば!! 苦労も忘れ、あの日を思い浮かべせる味と香りです。



↑実山椒とチリメンジャコで佃煮を作り、ご飯にのせたり。実山椒を粗みにんに切り、サラダオイルや調味料と混ぜ合わせドレッシング作り、野菜サラダに一味そえる。